永年にわたる功績を讃える
平成22年度 功労者表彰式

町の政治・経済・文化・社会などの各般にわたり町政振興への寄与、または多くの人々の模範と認められる行為があった方々を表彰する、平成22年度功労者表彰式が11月3日、みなくるで挙行されました。

表彰式は、出席者全員で町民憲章を朗読したあと、功労者の方々に池部町長から表彰状が授与され、受章者を代表して清水一文さんから謝辞が述べられました。

今年度顕彰された方々は次のとおりです。

自治功労

☆自治の振興発展に尽くされた方

佐藤　進さん（落合）

町議会議員として平成3年から平成19年までの4期16年間の永きにわたり在職し、この間総務民教常任委員長の要職にあり、町民の福祉向上に尽くされ、地方自治の振興発展に貢献されました。

清水　一文さん（金山）

昭和43年より現在まで42年間の永きにわたり町消防団員として在職され、この間副分団長・分団長の要職を務められ、住民の尊い生命・財産を守るため、消防人として清水一文さんは条例の目指す意義やイトウの生息数などを取り上げながら保護や規制、釣りとの共存の仕組みについて説明され、同会大光明宏武調査員より実際に調査したイトウの様子や釣り人へのアンケートなどで、条例が制定され看板などで周知することで、リリースする人が多い現状や保護を必要と感じている人が多いなどの結果が発表されました。

会場からは、町外での保護活動の様子や今後、南富良野町のように条例制定などの可能性の質問がでるなど皆さん熱心に聞き入っていました。

守るため、消防人としての重要な使命感に徹し消防団活動に貢献されました。

渡部　一成さん（下金山）

昭和48年より32年間の永きにわたり町消防団員として在職され、この間副分団長の要職を務められ、住民の尊い生命・財産を守るため、消防人としての重要な使命感に徹し消防団活動に貢献されました。

産業経済功労

☆産業経済の振興発展に尽くされた方

岩永　かずえさん（北落合）

農協女性部役員として、平成元年より現在まで21年間在職し、この間副部長・部長の要職を永年務められ、組織の運営と活性化に尽力されました。

公益功労

☆町の振興発展に多額の私財を寄附された方

楯　キミヱさん（幾寅）

故南富良野町名誉町民楯大亮様の意思をくみ、本町の地域振興のための資金として多額の私財を寄附されました。

いつまでもお元気で
長寿を祝い 感謝を込めて 敬老会

町主催による敬老会が11月9日、みなくるで行われました。

式典では、町内各地区から集まった210名の出席者に、池部町長と佐々木町議会議長から、長寿のお祝いと永年のご苦労に対する感謝の言葉が述べられ、出席者を代表して町老人クラブ連合会会長平野清司さん（下金山）が謝辞を述べられました。

祝宴では、三橋基晴町民生委員児童委員協議会長の祝盃に始まり、幾寅保育所園児によるお遊戯や協力団体の方々による趣向を凝らした踊りなどが披露されました。

また、南富良野中学校3年生による南中ソーランでは迫力ある舞に、アンコールがかかるなど2年ぶりの開催（昨年は新型インフルエンザの流行により中止）を堪能し、協力団体の方々が用意した豚汁などの料理を味わいながら楽しく過ごされていました。

敬老会の開催にあたりご協力いただきました、町婦人団体連絡協議会、JAふらの南富良野支所女性部、町赤十字奉仕団の方々に、紙上をもちましてお礼申し上げます。

南富良野から発信
第9回北海道イトウ保護フォーラム

ソラプチ・イトウの会（小松忠雄代表）による主催で第9回北海道イトウ保護フォーラムが11月6日、みなくるで行われました。

会場には、町内外から約100名が参加し、昨年4月から施行した町イトウ保護管理条例の紹介や町内での保護の取り組みなどが紹介されました。

はじめに、今年度、同会では町内各小・中・高等学校と連携し、イトウの生態系や生息する環境、豊かな森林資源の保全と生活環境などを結びつけながら出前環境講座を7月から行っており、幾寅小学校4年生が実際に川で調べた水質や学習したイトウ生態などの実践発表が行われました。

その後、条例施行までの経緯について町より説明し、文化庁の江戸謙顕調査官からは条例の目指す意義やイトウの生息数などを取り上げながら保護や規制、釣りとの共存の仕組みについて説明され、同会大光明宏武調査員より実際に調査したイトウの様子や釣り人へのアンケートなどで、条例が制定され看板などで周知することで、リリースする人が多い現状や保護を必要と感じている人が多いなどの結果が発表されました。

会場からは、町外での保護活動の様子や今後、南富良野町のように条例制定などの可能性の質問がでるなど皆さん熱心に聞き入っていました。

千里大学20周年記念　第５回大学祭
学びの成果と永年培った数々の一芸を披露

町の千里大学による第5回大学祭が10月30日にみなくるで行われました。

大学祭は、企画をはじめ、司会や照明器具の操作、舞台の設営などを学生の皆さん自らが担当して運営され、会場内には、書道や手芸などの数々の作品が展示されました。

舞台では、学生の皆さんがそれぞれの課程（本科・大学院・専修科）に分かれ、夏から練習を始めた「ヨサコイソーラン」や「楽器演奏」、振り付けを自ら考え校歌に合わせて踊る「千里大学音頭」や古典芸能の「二人羽織」、「歌謡曲」や踊りながらの「童謡メドレー」などや自慢の歌声や舞踊、器楽演奏、趣向をこらした演劇「大きなかぶ」など永年培ってこられた数々の一芸が披露されました。

観覧に訪れた大学卒業生をはじめ、多くの町民の皆さんから大きな拍手を浴び、成し遂げた学生からは、「よかったね」「楽しかったね」と声を掛け合い喜びを共有していました。